

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導担当資格の有無	無		
教育学部	教授	藤井茂樹				
I 教育活動						
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概要			
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)						
1. ICT等を活用した授業・演習 (びわこ学院大学)		平成26年度から30年度まで	言語療法の講義において、スライド資料を用意し言語障害ごとにDVD視聴を行い、実際に言語障害の体験を交えて講義を行った。			
2. 学外と連携した実習 (スポーツ少年団体力測定・高齢者健康教室・チャレンジキッズ) (びわこ学院大学)		平成26年度から30年度まで	スポーツ教育学を基本に、スポーツ教育学基礎演習Ⅰ・Ⅱにおいて学生自身がグループごとに計画を立て、実行し、振り返る活動を1年生から取り組み、3年生で地域の1年生から3年生の子どもを対象にチャレンジキッズとしてニュースポーツに取り組みさせた。			
2 作成した教科書、教材、参考書						
1. 特別支援教育の理論と実践		平成24年4月	日本LD学会・特別支援教育士資格認定協会による特別支援教育士資格認定講義の教科書である。特別支援教育の理念と実践、小中高、特別支援学校での取り組みについて論じている。			
2. 教員と教員になりたい人のための特別支援教育テキスト		平成30年7月	教職課程コアカリキュラム：特別の支援を必要とする幼児、児童、生徒に対する理解と支援に対応するテキストである。学生が特別支援教育の全般を理解する、学校現場の教員研修等で活用できるように構成した。			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
1. 京都府スーパーサポートセンター公開講座通常の学級に活かせる通級指導との連携講座		平成29年7月、9月	言語障害・自閉情緒障害通級指導教室と通常の学級の連携を、個別の指導計画の共有から検討を行った。			
2. 京都府教育委員会特別支援教育課研修会講師		平成28年2月	障害のある人への一貫した支援の在り方を、教育・福祉・保健・労働との連携から市町の支援システムの構築について講演した。			
4 その他教育活動上特記すべき事項						
1. 北海道十勝管内発達支援連絡協議会 招聘アドバイザー		平成26年から現在	教育・福祉・就労を中心に生涯にわたる一貫した支援システムの在り方を、芽室町・新得町・清水町・幕別町・池田町の発達支援センターを中心に行政内の関係課連携、保幼小中支援を中心に検討を行っている。			
2. 京都府教育委員会スーパーサポート拠点事業専門家チーム委員		平成26年から現在	京都市内特別支援学校研修会、市町教育委員会研修会、管理職研修会等の講師			
II 研究活動						
著書 (単著)						
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月	
著書 (共著・分担執筆)						
題目/書名	著者/編者	初(始)頁～終頁	発行所	発行地	発行年月	
教員と教員になりたい人のための特別支援教育のテキスト	藤井茂樹 /小林倫代 広瀬由美子 星裕子	44頁～52頁 56頁～59頁 86頁～89頁 96頁～111頁 118頁～146頁	学研	東京	平成30年7月	
アクティベート 特別支援教育	藤井茂樹 /広瀬由美子 石塚謙二編著	81頁～96頁	ミネルヴァ書房	京都	平成31年4月	
原著論文 (審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。)						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月	
総説						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月	
その他 (「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入)						
区分	題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月
症例報告	ADHD児への包括的支援 - 中学校から高校への移行と自己肯定感 -	共 藤井茂樹 宇野正章	びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学研究紀要	第6号	45頁～52頁	平成27年3月
症例報告	環境アセスメントとADHD一学校アセスメントとADHD児支援の検討 -	共 藤井茂樹 小林倫代 植木田 潤	びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部研究紀要	第7号	59頁～66頁	平成28年3月
実践報告	私立中学校における特別支援教育の推進について - インクルーシブ教育システム構築モデル事業を通して -	共 藤井茂樹 不破昌幸 深尾泰造 渡邊泰子	びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部研究紀要	第8号	83頁～90頁	平成29年3月
調査研究	合理的配慮における合意形成過程について - 国立特別支援教育総合研究所「合理的配慮」実践データベースからの検討 -	共 藤井茂樹 横尾 俊	びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部研究紀要	第9号	79頁～86頁	平成30年3月
調査研究	インクルーシブ教育システムにおいて保護者が学校・教育委員会に望む対応 - 保護者の学校・教育委員会へ望む対応についての意識調査を通して -	共 藤井茂樹 横尾 俊	びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部	第10号	107頁～116頁	平成31年3月

学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等）」、「研究会」等区分を記入）						
区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名	
国内（一般演題）	平成30年9月	第56回日本特殊教育学会	農副連携による障害のある人への就労支援－チャレンジファーム（養鶏場）における就労支援からの検討－	グランキューブ大阪	藤井茂樹	
国内（一般演題）	平成30年9月	第56回日本特殊教育学会	インクルーシブ教育システムにおいて保護者が学校に望む対応	グランキューブ大阪	横尾俊 藤井茂樹	
国内（一般演題）	平成30年11月	第27回日本LD学会	発達障害のある人への就労支援の在り方について－長期支援してきたASD症例からの検討－	新潟朱鷺メッセ	藤井茂樹	
国内（一般演題）	平成29年9月	第55回日本特殊教育学会	合理的配慮における合意形成について－国立特別支援教育総合研究所「合理的配慮」実践事例データベースからの検討－	愛知教育大学	藤井茂樹 横尾俊	
国内（一般演題）	平成29年9月	第55回日本特殊教育学会	Ofstedの監査報告書による特別学校の評価について	愛知教育大学	横尾俊 藤井茂樹	
国内（一般演題）	平成29年10月	第26回日本LD学会	2年目教員への授業改善コンサルテーションの取組－配慮を要する児童への支援を通して－	宇都宮大学	藤井茂樹 小西喜朗	
国内（一般演題）	平成28年9月	第54回日本特殊教育学会	私立中学校における特別支援教育の推進について－インクルーシブ教育システム構築モデル事業を通して－	新潟朱鷺メッセ	藤井茂樹 不破昌幸 深尾泰造	
国内（一般演題）	平成28年9月	第54回日本特殊教育学会	イギリスのSEND制度における地方自治体による保護者への情報提供について	新潟朱鷺メッセ	横尾俊 藤井茂樹	
国内（一般演題）	平成28年11月	第25回日本LD学会	通常学級におけるASD生徒への支援	お茶の水女子大学	藤井茂樹 渡邊泰子 深尾泰造	
科学研究費等の取得状況						
科学研究費／その他の助成金／外部資金						
区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額（期間内の総額）	
科学研究費	基盤研究C	インクルーシブ教育システムにおける合意形成のプロセスに関する研究	分担	平成28年度から30年度	52万円	
特許						
特許名称	発明者／出願人	出願日／出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国
Ⅲ 加入学会および社会における活動						
期 間	内 容					
加入学会						
平成21年4月～現在	日本LD学会 代議員					
平成21年4月～現在	一般社団法人 特別支援教育士資格認定協会 評議員					
社会的活動						
平成26年4月～平成30年3月	滋賀県東近江市発達支援協議会 会長					
平成26年4月～現在	京都府特別支援教育サポートチーム 専門家チーム委員					
兵施27年6月～平成30年3月	滋賀県高等学校巡回チーム 巡回相談員					
平成26年4月～現在	北海道十勝管内発達支援連絡協議会 アドバイザー					
Ⅳ 管理活動						
期 間	内 容					
委員会活動						
平成30年4月～平成31年3月	教務委員長（びわこ学院大学）					
平成26年4月～平成31年3月	自己点検・人事委員会・企画運営（スポーツ教育学科長） 各委員（びわこ学院大学）					
特別プロジェクト活動						

V クラブ活動の指導業績

1. 指導クラブ名	部	2. 役職	3. 部員数	人
4. 現場指導の頻度	選択 ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない			
5. 合宿指導	年間合宿回数：	回	延べ日数：	日
6. クラブの競技力向上への取り組み	選択	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない		
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	選択	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない		
8. 部員の就職指導への取り組み	選択	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない		
9. 年間の引率公式大会名	大会名	期間	場所	
10. クラブ戦績 (全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。)				
開催期間	大会名	成績	場所	

VI 賞罰 (職務に関する賞罰)

年 月	受賞等機関名	内 容	備 考